

# HeartCore 静的ファイルエクスポート機能マニュアル October 2018 Ver1.1

-1-



#### 改訂履歴

	改訂日	改訂内容			
初版	2016年11月	新規作成			
Ver1.1	2018年10月	HeartCore v11 への更新			

# HeartCore

# 目次

1.	本文	書の目的 4 -	
1	.1.	目的	
2.	静的	ファイルエクスポート機能(管理画面操作)	
2	.1.	エクスポート先の指定4-	
2	.2.	エクスポートの実行5-	
2	.3.	エクスポートファイル6-	
3.	静的	ファイルエクスポート機能(シェルスクリプト操作) 6 -	
3	.1.	エクスポート先の指定6-	
3	.2.	クッキーファイルの生成6-	
3	.3.	エクスポートの実行7-	
3	.4.	エクスポートファイル7-	
4.	制限	事項について	



#### 1. 本文書の目的

1.1. 目的

本文書は、HeartCoreのエクスポート機能を説明した文書となります。 本機能は、コンテンツのコピーを静的な HTML ファイルとしてエクスポートする機能となります。 本文書を参照することで、該当機能の一通りの操作を行うことができることを目的としております。

### 2. 静的ファイルエクスポート機能(管理画面操作)

#### 2.1. エクスポート先の指定

【設定>機能設定>公開】より、エクスポート先のフォルダパスを「エクスポートするフォルダパス 名」の入力フィールドに指定します。

HeartCore がインストールされているフォルダの ROOT フォルダ内のサブフォルダをご指定下さい。 なお、パスの指定はフルパスとなります。

- ・Linux でのパスの設定例: (ROOT 直下の test フォルダにエクスポートする場合) /user/local/tomcat/Tomcat9.0/webapps/ROOT/test ※パスはお客様の環境に合わせて下さい。
- ・Windows でのパスの設定例:(ROOT 直下の test フォルダにエクスポートする場合) C:¥Tomcat9.0¥webapps¥ROOT¥test ※パスはお客様の環境に合わせて下さい。

パス指定後、「保存」ボタンをクリックし、パスを保存します。 ※必ず「保存」をして下さい。

トップ 閲覧&編集			公開の設定			次のユーザでログインさ	れています: admin	ログアウト	ヘルプ   三
HeartCore CMS	ワークスペース	器 階層構造	עעדעב 📉	メディア	E37-X		<u></u> #	解析	🚫 設定
				_					
	保存        保存時に自動        手動 - デフォル        手動 - デフォル        ページを公開す        ページを公開す        ・htmlファイ        ・htmlファイ        ・htmlファイ        ・htmlファイ        ・かけにファイ        ・ホールコアート        ・スケジュールさ        スケジュールさ        コンテンツアイテム        新規および更新され        エクスポートするこ	トはオン トはオフ るのに動的Webア るのに静的Webア ル、'sファイル・ シスにファイルを作 そうった後に、静的 れた公開を無効に れた公開期を有効に れた公開期限を無引 れた公開期限を有 うてオルダーを選択し たるユンテンツが自 フォルダバス <mark>4</mark> : /use	ドレスを使用します。 ドレスを有効にします。 *.cssファイルをWEB 該成しない。(クラウト はます。 します。 切にします。 効にします。 効にします。 アイルとしてコピー( 動的にエクスポート *//ocal/tomcat/	す。 に出力します。 サーバーに対し、約 ベストレージでは必須 ルを、作成)更新的原 ● 全てのジ ● 全てのジ ● 全てのジ ● 全てのジ ● 全てのジ ● 全てのジ ● 全てのジ	的なファイルとして】 剤) 余を行った場合は、必 スケジューリング(複 スケジューリング(複 クします。 /webapps/ROOT/BK	配信します。 ( <i>s<sup>*</sup>)データベースの更新</i> 数公開設定)を有効に( 数公開設定)を有効に(	をクリックしてく 」ます。 」ます。 エクスポートしま	*ださい。*.	Comments

- 4 -



2.2. エクスポートの実行

エクスポート先の指定にてエクスポートの準備が整ったら、「全てをエクスポートします」ボタンを 押下します。

#### エクスポートが開始され、以下のウィンドウが開きます。

Exporting content items as static files to /usr/local/tomcat				
/ /webapps/ROOT/BK:				
1 : stylesheet : default : /usr/local/tomcat/	/webapps/ROOT/BK			
/stylesheet_Lcss 2:page:ログイン:/usr/local/tomcat/	/webapps/ROOT/BK			
/page_2.html  3 : nage : 検索結果エントリ : /usr/local/tomcat/	/webapps			
/ROOT/BK/page 3.html	(unhanne (DOOT (DV			
4 : page_4.html	/ webapps/ ROO I/ BR			
5:page:リストエントリ:/usr/local/tomcat/ /page 5.html	/webapps/ROOT/BK			
6 : image : icon_feed.jpg : /usr/local/tomcat/	/webapps/ROOT/BK			
7 : image : icon_gototop.jpg : /usr/local/tomcat/	/webapps			
/ROOT/BK//image/icon_gototop.jpg 8 : image : icon menudown white.jpg : /usr/local/tomcat/	/webapps			
/ROOT/BK//image/icon_menudown_white.jpg	luchanne			
a. image . icon_menurignt_white.jpg . / usr/ iocal/ tomcat/ /ROOT/BK//image/icon_menuright_white.jpg	/ webapps			

# エクスポートが完了すると、最下行に「Done」と表示されます。

706 : page : search 秧家フォーム : /usr/local/tomcat/	/webapps
/ROOT/BK/page_706.html	
707 : page : 1-1 : /usr/local/tomcat/	/webapps/ROOT/BK
/test/sample11.html	
708 : page : 1-2 : /usr/local/tomcat/	/webapps/ROOT/BK
/test/sample12.html	
709 : page : 1-1 : /usr/local/tomcat/	/webapps/ROOT/BK
/test/sample21.html	
Done	

# 以下のように、エクスポートファイルが1件も表示されず終了した場合は、パスの指定に誤りがある か、もしくはパスが保存されていない可能性がありますので、ご確認ください。

Exporting content items as static files to /tmp/BK:

Done



2.3. エクスポートファイル

エクスポートされたファイルは、階層に従って指定したフォルダ配下に保存されます。 静的ファイル名を指定していないコンテンツは、下記のように ID を伴ったファイル名にて保存され ます。

page\_958.html 🖉 page\_959.html script\_506.js script\_507.js stylesheet\_225.css stylesheet 232.css

※最初にエクスポートを実行した後は、「新規作成」「更新」「削除」を行った公開コンテンツのみ 自動的にエクスポートされます。

## 3. 静的ファイルエクスポート機能(シェルスクリプト操作)

3.1. エクスポート先の指定

コマンドからエクスポートを実行する場合、予め【設定>機能設定>公開】にてエクスポートするフ ァイルパス名を設定しておく必要があります。

※「エクスポートするファイルパス名」を設定していない場合は、コマンドより実行を行なっても エクスポートされません。

3.2. クッキーファイルの生成

「wget」コマンドを使用して、「/webadmin/login\_post.jsp」でアクセスログインし、クッキー情報を「cookie.txt」ファイルで取得保存します。

#wget -O - --quiet --cookies=on --keep-session-cookies --save-cookies=cookie.txt 'http:// 【URL】/webadmin/login\_post.jsp?username=【スーパーユーザ名】&password=【スーパー ユーザパスワード】'

※上記コマンドは一行で入力して下さい。

※念の為、コマンド実行後に『cookie.txt』ファイルが生成されているか『ls』コマンドで確認してく ださい。『cookie.txt』ファイルは、コマンドを実行したディレクトリに生成されます。



#### 3.3. エクスポートの実行

生成されたクッキー情報(cookie.txt)を読み込み『/webadmin/content/export\_all.jsp』を 実行します。

# wget -O - --quiet --cookies=on --keep-session-cookies --save-cookies=cookie.txt --loadcookies=cookie.txt 'http:// [URL] /webadmin/content/export\_all.jsp' > export\_all.txt

※上記コマンドは一行で入力して下さい。

※『export\_all.txt』ファイルにはエクスポートされたコンテンツのリストが生成されます。

※上記コマンドでは、コマンドを実行したディレクトリに『export\_all.txt』ファイルが生成されま す。

3.4. エクスポートファイル

「3.3 エクスポートの実行」を実行すると、「3.1 エクスポート先の指定」で設定した「エクスポートするファイルパス名」のフォルダ配下にエクスポートされたファイルが保存されます。

## 4. 制限事項について

・ 静的ファイル名が付与されていないコンテンツは、ID を伴ったファイル名がエクスポート時に 生成されます。

ページ:page\_ID.html スタイルシート:stylesheet\_ID.css スクリプト:script\_ID.js

- ・ エクスポートされた静的ファイル内に存在するリンクは、全て静的 URL へ変換されます。
- ・ 本機能でエクスポートされるコンテンツは、公開中コンテンツのみとなります。
- ・ 拡張子のないファイル名を持つページには、すべてエクスポート時に「.html」が付与されます。
- HeartCore で出力している動的部分は、静的出力では使用できません。
  例: form を使ったデータベースへの post など ※post.jsp が post.html へ変換される為
- 本機能で静的ファイルが生成されるコンテンツクラスは、ページ、スタイルシート、スクリプト、
  イメージ、ファイルである。商品/クラス/テンプレートは対象外となります。
- ページのファイル名拡張子が「html」、及び「htm」以外の場合は、すべて「html」へ変更されます。

以上

- 7 -